

寺だより

ご くら く 通 信

令和2年8月1日
第18号

発行所
千葉県安房郡鋸南町
竜島7番地
極楽寺
0470-55-0733
<http://gokurakuji.online>

今、お寺ができること

—疫病の流行から—

今年2月の節分は天気にも恵まれ、豆まきも賑やかに行われましたが、ちょうど同じ頃、中国由来の新型コロナウイルスの日本での初感染が確認され、それから約2ヶ月の間、感染は徐々に拡大し、4月には緊急事態宣言が出されることになりました。ソーシャルディスタンス、移動の自粛が叫ばれ、世の中の様相はわずかな期間ですっかり変わってしまったように思います。

極楽寺でも本堂での法事の際には、なるべく少人数でご参加いただくようご案内し、座席はなるべく離し、窓を開けて換気をしながら行うようにいたしました。最近では葬儀や法事も少人数で行われるようになり、今後寺院活動は状況に合わせた工夫や改変が必要になってく

るでしょう。

新型コロナウイルスの対処については、その解決の糸口すら見えず、社会の状況も不安定であり、世界中の人々が不安の最中にあります。これまでとは、すっかり変わってしまった普段の生活の中で、いかに心を安らかに保ち、希望を見出していくかが大切になってきました。

現在、兼務している真野寺では、遠方から定期的に来山されるご信者さんたちも外出自粛で参拝が難しくなったため、在宅でもできる写経をホームページからご案内するようになったところ、2ヶ月間で全国から千名を超える写経が届きました。

届いた写経には、写経を初めて体験し、心が安心したことや、郵送で納経できることへの感謝の気持ちが進められたお手紙も添えられており、御朱印を書きながら大変な励みになりました。

お手紙を通して、わずかな時間であっても心の平穏や、人と人との繋がりが求められているということが伝わってきました。仏教が日本に伝えられてから、疫病の流行や困難と呼ばれる事態が何度もありました。その度に仏教は時代に応じた方法で人々の心に救いを届けようとしてきました。

仏教の歴史に鑑み、困難な状況において仏教ができること、お寺ができることを模索したいと思います。

今年のお盆 ちようちん灯し

寺子屋 施餓鬼法要

新型コロナウイルス対策

今年のお盆のちようちん灯しは、新型コロナウイルスの感染防止対策として、夕方にお参りの方が集中しないように、昼間の時間にもお参りいただけると、お線香を点火する七輪を午前中から点火しておくようにいたします。ご参拝の際には、マスク着用など感染防止を心がけお参りください。

お盆期間中の地獄絵の展示は例年どおり開催いたしますが、観覧の際は、本堂内の様子で、中に人が多いようであればご遠慮ください。

寺子屋子ども修行道場は残念ながら今年開催しないことになりました。

8月30日(日)に行われる施餓鬼法要については、世話人会議の結果、檀家さま全員にご参加いただくことを断念し、新盆のお家の方と、護持会の幹部役員のみで参列で開催することが決まりました。

これにあたって、今年の施餓鬼法要の会費は集めないことになりました。(新盆の方のみ集金させていただきます)

また、すでに4月に施餓鬼会費を年会費として一括でお納めいただいた方には、来年の集金の際に会費分を差し引いた金額でご案内いたします。

なお、施餓鬼法要中、各家の先祖供養は例年どおり行いますので、先祖供養のお塔婆をご希望の方は、例年どおり極楽寺にお申し込みください。

施餓鬼の先祖供養塔婆は2千円です。

○お電話での申し込み

0470-55-0733

施餓鬼のお塔婆は、8月30日の法要開始の10時から17時まで本堂でお配りいたしますので、施餓鬼当日にお墓参りに来られる方は、本堂でお受け取りください。

また、当日にお引取りのなかったお塔婆は31日以降に、各家のお墓に建てさせていただきますので、ご了承ください。

幸いにして鋸南町はまだ感染者が出ておらず、安房地域も感染者が数名出たものの、拡大には至っておりません。しかし、未知のウイルスに対しては、今後も全力で感染防止に当たる必要があります。

極楽寺の行事も今後しばらくは縮小することになるかもしれませんが、状況を見ながら、時機に応じた対処をして参りたいと考えております。みなさまもどうか今後も感染予防に十分お気を付けください。みなさまの身上安全、身体健全をお祈りしております。

境内整備事業

令和5年に迎える弘法大師ご生誕一二五〇年記念奉修事業として、平成27年から始まった境内整備事業につきまして、

- ① 無縁墓地の合葬と区画の整理
- ② 参道の整備と境内景観の改良
- ③ 鐘楼堂の設置

の3本立てで進めておりますが、
①の無縁墓地の合葬と区画の整理は、このほど完了いたしました。

この秋から②参道の整備と境内景観の改良が始まります。

この一環として6月に本堂前の宝篋印塔を境内北側の新墓地区域に移設いたしました。この宝篋印塔は、太平洋戦争で亡くなられた護国英霊を祀る供養塔で、おそらく日中戦争期に建てられたものと思われます。

これまででは、お参りするにも石段を

上がらなければなりませんでしたが、移設後は階段を上がらずにお参りいただけるようになりました。



護国英霊を祀る宝篋印塔を
六地藏の隣に移設しました。

また、9月の彼岸明けからは、山門から本堂へ続く参道を新規に敷設する工事が開始予定です。

9月末から10月初旬には参道工事のため、お墓参りにご不便をおかけすることと存じます。ご了承くださいますよう、何卒お願いいたします。

位牌の預かり供養

家族形態やライフスタイルの変化により、位牌の供養も難しくなるケースがあります。

- ・位牌が多くて新居の仏壇に入らない。
- ・実家のお墓を継承したが、嫁ぎ先の仏壇に実家の先祖の位牌をお祀りできない。
- ・古い先祖の位牌がたくさんあるが、お焚き上げせずに供養したい。

など、事情は様々ですが、お話を伺った上で、極楽寺本堂の位牌棚で位牌を預かりご供養を続けることもできます。お気軽にご相談ください。

また、先祖の位牌を過去帳にまとめたい、位牌を新しくしたい等、仏壇についてのご相談もお受けしております。

建物解体式／地鎮祭

台風で被災し、やむを得ず家屋を解体するにあたり、仏壇、神棚の魂抜き、をご依頼いただくことが多くなりました。

建物の解体にあたっては撥遣（はっけん）という作法をもって、仏壇の仏様と、神棚の神様にこれまでお家をお守りいただいたことのお礼を申し上げ、解体前にお家からお離れいただくようにお祈りします。

また、解体後に新たに建物を普請する際には、地鎮祭を行っています。土地に宿る神様に「建物を建てさせていただきますのでお守りください」とご挨拶し、御供養をいたします。

実際に「鎮（しず）めもの」というに二十種類の宝薬を土地に埋納し、祈念を凝らします。

その他、一升酒・一升米を埋納します。これは一生（一升）お守りくださいという語呂合わせから生まれた作法です。

「LINE」アカウント

スマートフォン等で「LINE」アプリをお使いであれば、極楽寺の公式「LINE」アカウントを登録できます。

ご登録いただきますと、各種ご相談のほか、法事や塔婆のお申し込みなどに便利です。

メッセージを送っていただきますと、適宜ご返信させていただきますのでお気軽にご連絡ください。

極楽寺の行事や諸連絡なども時折ご案内させていただきます。どうぞご利用ください。



上の QR コードを
読み取りますと登録できます

年会費 振り込み用紙

昨年の台風の被災から、檀家さまの環境にも大きな変化が生まれ、やむを得ず、町外や他県に生活の場を移される方々も多くいらっしゃいます。

極楽寺の檀家さまでも、すでに百件以上の世帯、実に3割の檀家さまが町県外に住まわれていることから、護持会費やその他の会費などの納入につきまして、町県外にお住まいの方々を対象に、遠方より何度もお寺までお運びいただくことのないよう、今年から、年会費等を一括してお振り込みできるようにご案内をはじめました。

町外在住の檀家さまには、毎年4月に振込用紙を郵送いたしましたので、今後ご利用いただけましたら幸いです。

町内にお住まいの方々でも、世話人、連絡員のいない場合など、ご希望があれば対応させていただきますのでご相談ください。